

—— 古河市で国勢調査地方集計を実施 ——

昨年10月1日で国勢調査が実施されましたが、古河市では、市総合計画の見直し、各種の開発計画及び都市計画などの基礎資料とする目的で、総理府統計局の承認をえて、市独自の地方集計を行っています。

昭和55年国勢調査古河市地方集計実施要綱では、「上記の諸計画の策定にあたって、地区計画を主軸とする積上げ方式により、住民のニーズに基づく、きめ細かい計画とするためには、最近の資料により地域別の実態を把握する必要がある」旨述べられており、国勢調査結果の早期利用を計るとともに、自治会別・学区別などの地域別の集計を行うところに、この地方集計の大きな特徴があります。

現在集計作業が進んでいますが、本欄では、同市における集計の概要について紹介します。

(1) 集計項目

調査項目のうち外国籍の区分及び家計の収入の種類を除く全項目

(2) 集計の方法

転記票を使用、機械集計(民間委託)

(3) 主な集計事項

- ア 自治会、年齢(各歳)、性別人口
- イ 入居時期(6区分)、前住地(6区分)、年齢(5歳階級)、性別人口
- ウ 在学か否か、最終卒業学校の種類(5区分)、性別15歳以上人口
- エ 就学前教育(4区分)、性別6歳未満人口
- オ 労働力状態(8区分)、性別15歳以上人口
- カ 産業(大分類)、職業(大分類)、性別15歳以上就業者数
- キ 住宅の建て方(6区分)別住宅に住む普通世帯数、主世帯の1世帯当り室数及び1世帯当り畳数
- ク 子供の数(3区分)別母子(父子)世帯数及び母子(父子)世帯人員(学区別)
- ケ 都市計画の地域区分(9区分)世帯の種類(2区分)別人口及び普通世帯数
- コ 常住者の従業地(5区分)、産業(大分類)別15歳以上就業者数

—— 下館市統計大会行われる ——

12月4日、神奈川県湯河原町で下館市統計大会が開催された。

4日午前10時、新宿の総理府統計局を視察。事務局も含め市統計事務研究会員130余名の多数に、説明を受けた統計研修所の大教室も超満員。このため4班に別れて局内見学。統計局は目下国勢調査の審査集計の最中で、製表課では「茨城の調査票を審査していた」の声も。データ・エントリ一室ではキーパンチャーの数に驚き、電算室ではX-Yプロッター等のコンピューターによる作業に複雑な表情も散見された。

湯河原到着後、ホテル大会議室で統計大会が開催され、下館市長賞はじめ、統計功労者の表彰が行われた。50年勤続者を筆頭に多くの永年勤続者を目のあたりにし、その長

い間の地道なご苦労に対し、本当に頭の下がる思いでした。

続いて濱野市長のあいさつ、土井市議会議長の祝辞。事務局の調査員に対するゆきとどいた配慮をみるにつけ、さぞかし日頃の統計調査もスムーズにすすめられているであろうことが推察された。

最後に懇談会では、堀江市統計事務研究会長以下多くの調査員の方々の日頃のご苦労や経験豊かなお話しを中心に、なごやかな一時がもたれました。

なおこのほか、大子町統計大会が12月9日千葉県白浜町で調査員100余名が参加して行われ、又12月11日には岩井市統計大会がやはり神奈川県湯河原町で開催されています。

《お願い》「統計いばらき」では、今月号から『市町村だより』欄を設け、市町村統計関係者のパイプ役として、できるだけ各市町村の活動や行事などをお知らせしてゆきたいと考えています。内容は統計業務、行事あるいは意見など統計に関することでしたら特に限定しませんので、切にご寄稿あるいはご連絡をお願いします。